

# Big Data を インターネットコンテンツに！

## Zap-Over 技術

ビッグデータに財産価値が生じ、  
ビッグデータの市場が形成され、  
経済・産業上の大きい効果が期待できる。

100年後も使える（使われる）ビッグデータのアーカイブ技術を推進する、  
「巨大時系列データの高速処理に関する（JAXAとの）共同研究」チーム

# ビッグデータが コンテンツになっていない理由

- 技術上の課題

1. ビッグデータへの接続の問題

- インターネット経由で検索・ダウンロードできない

2. ビッグデータの組み合わせの問題

- ビッグデータを選び、組合せ、所望の形にできない

3. ビッグデータ利用コストの問題

※ これらの課題はZap-Over技術で解決の見通しが立った

# Zap-Over技術の推進効果

ビッグデータがインターネットのコンテンツになるので、

- AIなどの高度化が進み、
- さまざまなサービスが実現可能になり、
- 誰もがビッグデータを所有・利用可能になり、
- ビッグデータに財産価値が生じ、
- ビッグデータの市場が形成され、
- 経済・産業上の大きい効果が期待できる。

# Zap-Over技術の概要

**データ提供者：** ... *ビッグデータをD5Aファイル化（コンテンツ化）する*

表形式（最大数兆レコード、10万カラム）のビッグデータをD5A形式のファイルにしてインターネット上のファイルサーバに配置する。

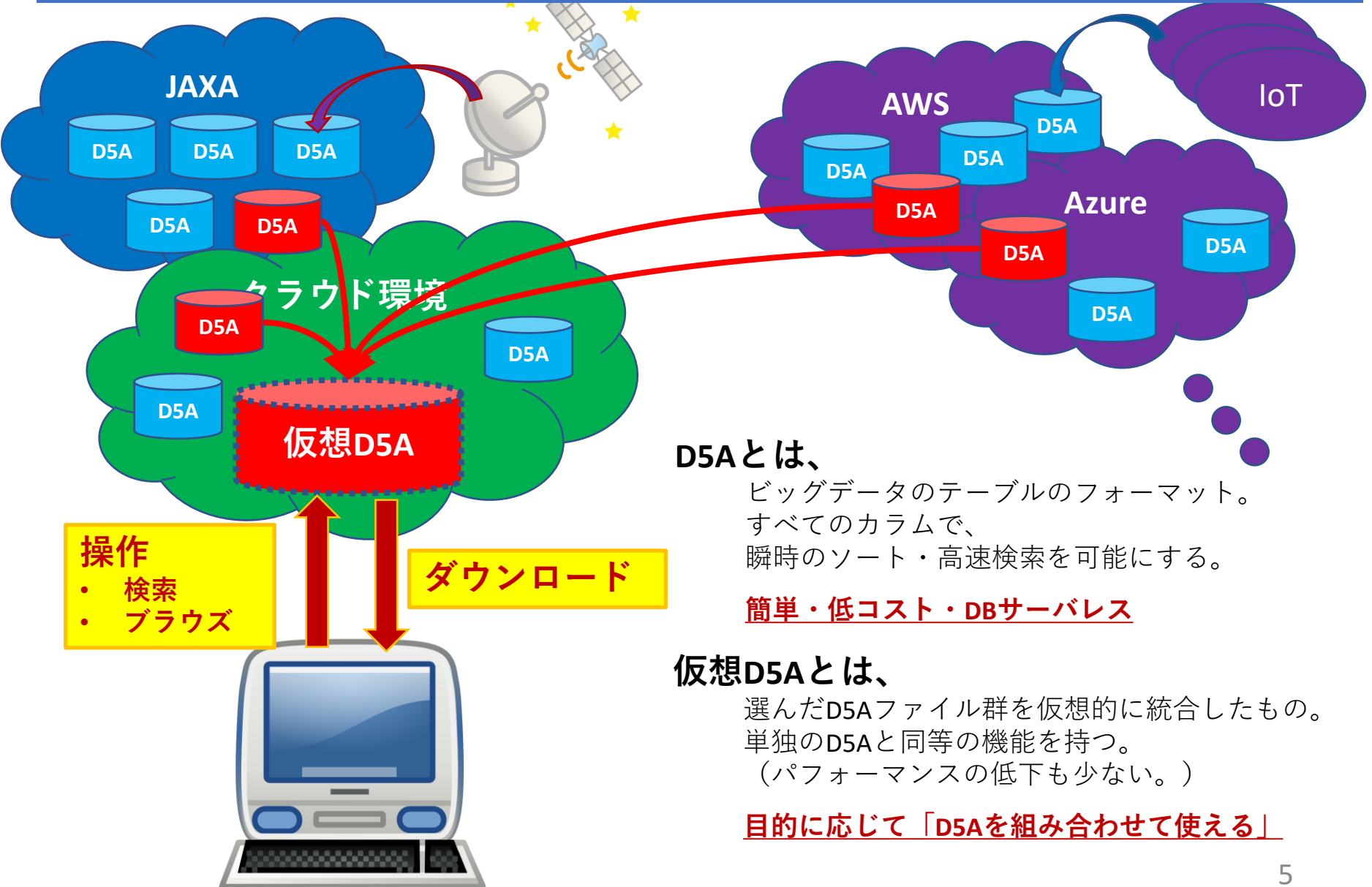
**データ利用者：** ... *D5Aファイルを選んで組み合わせる*

所望のD5Aファイルを選んで組み合わせ、望むスキーマにする。  
検索・ソートして必要な部分を取り出す。

**意義：**

1. ビッグデータをコンテンツ化できる。
2. ビッグデータを組み合わせ利用できる。
3. ビッグデータを低コストで利用可能にする。

# 実現可能になったサービス形態



## D5Aとは、

ビッグデータのテーブルのフォーマット。  
すべてのコラムで、  
瞬時のソート・高速検索を可能にする。

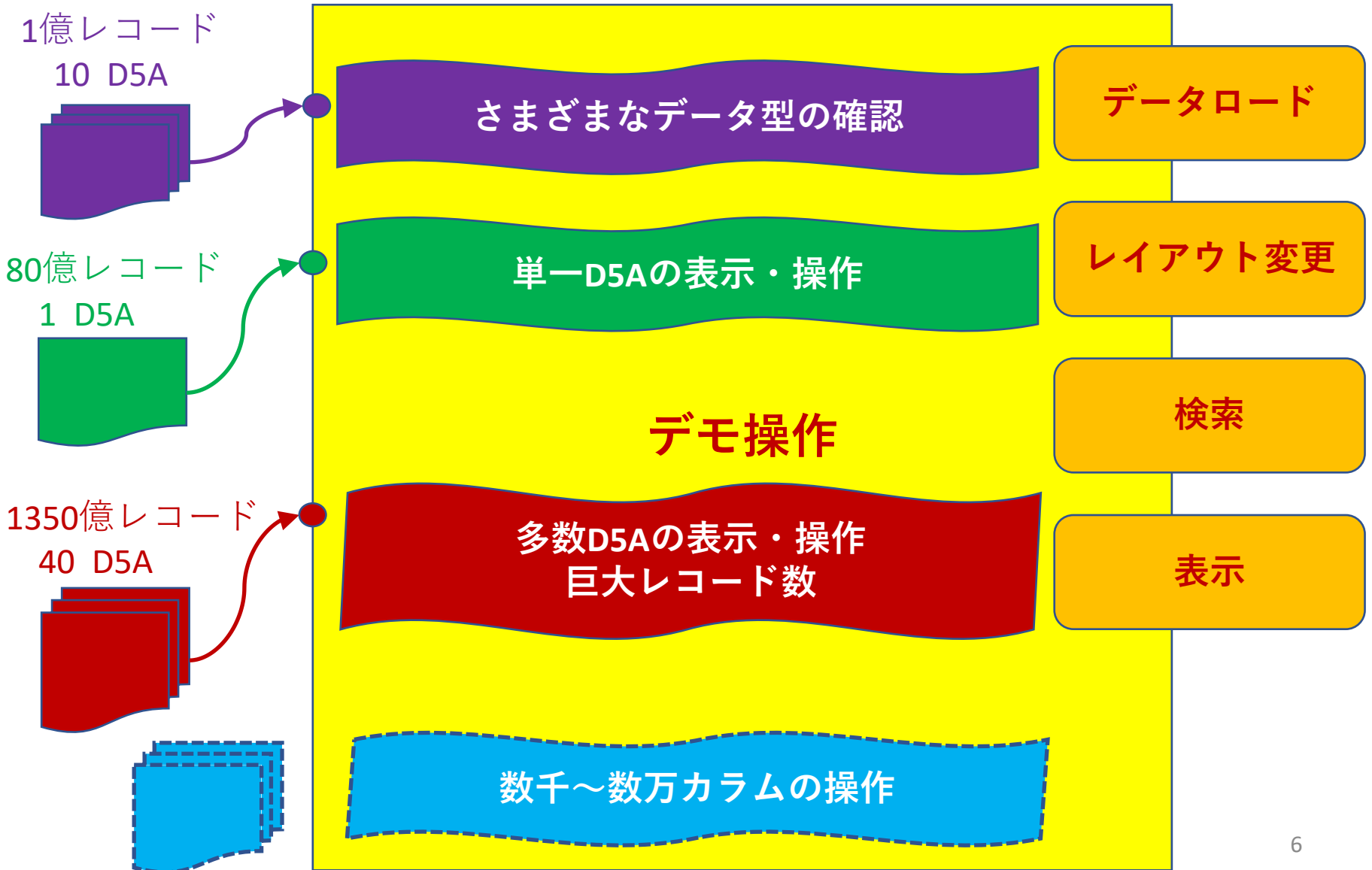
簡単・低コスト・DBサーバレス

## 仮想D5Aとは、

選んだD5Aファイル群を仮想的に統合したもの。  
単独のD5Aと同等の機能を持つ。  
(パフォーマンスの低下も少ない。)

目的に応じて「D5Aを組み合わせる」

# 操作デモの説明



# デモムービー

# これからの課題

- 技術の標準化
- 有償・無償コンテンツの普及
- ビッグデータ利用のルール作り